

達古武地域における森林再生 ベースマップの作成と保全・再生優先度の検討 (1/10)

1. 基礎データの収集とGISによる整理

- 既存の資料・デジタルデータをもとに必要な空間情報について整理
- 今後の分析のために、対象地域(4200ha)を分水嶺で4つの集水域、34の小流域に区分

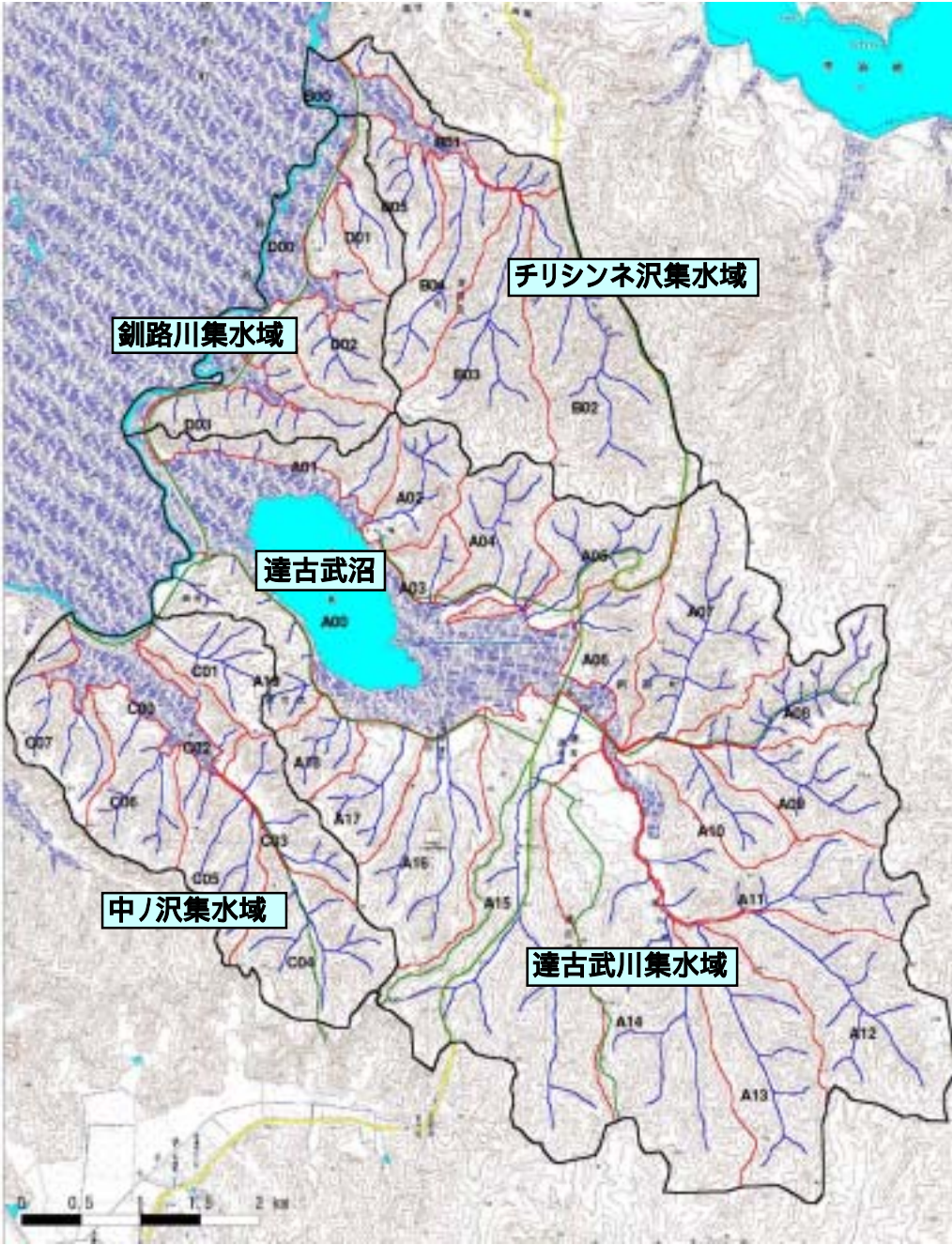
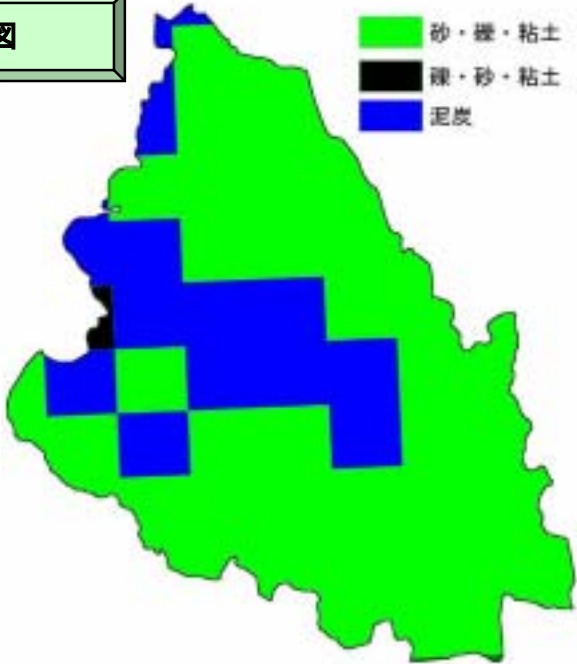
● 沢と流域区分

- 黒枠 大集水域
- 赤線 小流域の範囲
- 青線 沢
- 緑線 主要道路

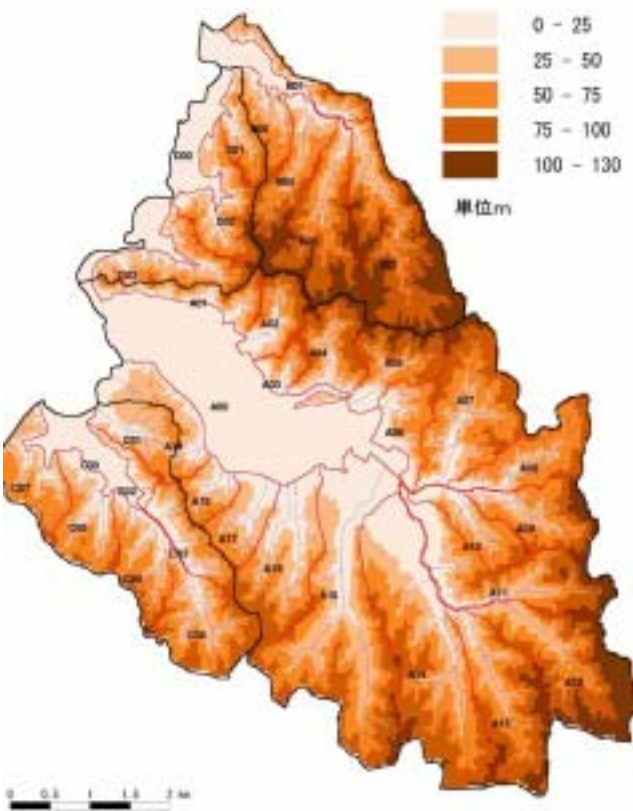
表. GIS上にまとめているデータ

○ 画像データ	対象	作業内容
地形図	数値地図ラスタ1/50000	デジタルデータ
空中写真	釧路市撮影2000カラー	金子チームデジタル化
○ 基盤データ	対象	作業内容
自然公園界、行政区	国土地理院	金子チームで整理
鳥獣保護区	北海道	金子チームで整理
気温・降水量・積雪等	国土数値情報気象メッシュ	デジタルデータ
経営耕地面積	農水省 農業センサス	デジタルデータ
○ 地形データ	対象	作業内容
標高メッシュ50m	数値地図50m	デジタルデータ
地質区分	国土地理院表層地質図・土壌図	デジタルデータ
集水域区分	地形図より作成	新規作成
河川・沢	地形図より作成	新規作成
○ 植生・樹林データ	対象	作業内容
大正土地利用図	1920地形図をもとに作成	金子チーム作成
現存植生図	環境省自然環境GIS	デジタルデータ
植林・伐採データ	林班図・森林簿など	一部デジタルデータ
○ 既存資料データ	対象	作業内容
過去の調査結果	トラストサルン報告書など	デジタル化

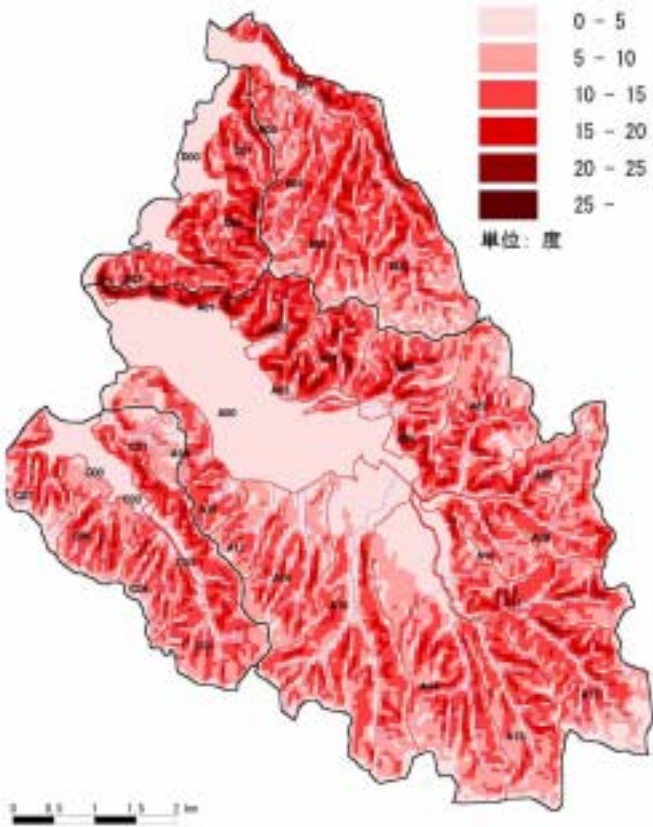
● 表層地質図



● 標高データ(数値地図より作成)



● 傾斜角度(数値地図より作成)



● 傾斜方位(数値地図より作成)

